研究授業(1)

<単元名> 総合的な学習の時間「川の水調査隊!」

<単元の目標>

神田川の環境についての調査や環境保全に努める方との関わりなどを通して、私たちの 生活と環境の関わりに気付き、川の環境を守るために自分たちにできることを考え、自らの 生活や行動に生かすことができるようにする。

<学習の様子>

神田川の水を調査しに行ったり、昔の川の汚れた様子の写真を見たりして、疑問に思ったことをグループごとに調べて伝え合った。川が汚れる原因は、自分たちの生活排水等によるものだと分かり、自分たちにできることはあるのか、一人で取り組んでも改善できないのではないかなど考えが広がってきた。



<成果と課題>

- ○学習の見通しをもたせるために、eduScrum ボードを 活用した。川の実態を明らかにするという学習のゴ ールに向けて、どんな活動が必要なのかを自分たち で考え、付箋に書き出すことで明確にできた。
- ○自ら課題を選択したり、振り返りから次時のめあて を考えたりすることで、児童主体の学習となった。
- ●eduScrum ボードの活用により、単元の初めに学習の 見通しをもつことができたが、それ以降どのように 活用すべきかが課題である。

取り組むこと	メンバー	分担	作業中	完成
情 報				
情報収集(責)				
→ 商え整理する」と(資) → プレゼン準備等で終			-	10000-1000-0
整理する				
i.e 使				
↓ ブ				1 1000
レゼン事				
商	共同で行うもの			
グループのめあて		ブロジェクトを進める モチベーション・楽しみ	全体のゴール 6月28日にみんなで 発表をし合う。	

●児童にとって、川はあまり身近ではなく、調べ学習の中で環境保全に取り組む人々の思い に触れる機会が少なく、問題意識を高めることができなかった。